

令和元年度千葉市あんしんケアセンター運営事業実績について

1 総合相談事業

【表1 総合相談事業】 ※ () は相談件数割合

項目		期 間			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度比
相談件数合計 (件)		53,221	62,890	73,862	17.4%増
相談者実人数 (人)		—	—	15,754	—
相談者延人数 (人)		38,300	41,248	47,258	14.6%増
訪問延件数 (件)		10,284	10,940	12,122	10.8%増
総合相談内容別件数【重複】 単位…(件)	介護保険制度	21,656 (40.7%)	25,024 (39.8%)	33,782 (45.7%)	35.0%増
	認知症等	5,951 (11.2%)	7,279 (11.6%)	7,920 (10.7%)	8.8%増
	医療・保健	4,692 (8.8%)	6,063 (9.6%)	6,055 (8.2%)	0.1%減
	施設入所	3,053 (5.7%)	3,655 (5.8%)	3,843 (5.2%)	5.1%増
	安否確認(見守り)	2,070 (3.9%)	2,921 (4.6%)	3,553 (4.8%)	21.6%増
	ケアマネ支援	1,730 (3.3%)	1,964 (3.1%)	3,068 (4.2%)	56.2%増
	個人の悩み事	2,227 (4.2%)	2,550 (4.0%)	2,204 (3.0%)	13.6%減
	経済的問題	1,493 (2.8%)	2,013 (3.2%)	2,021 (2.7%)	0.4%増
	家族の問題	1,063 (2.0%)	1,572 (2.5%)	1,697 (2.3%)	8.0%増
	保健福祉制度	1,672 (3.1%)	1,635 (2.6%)	1,356 (1.8%)	17.1%減
	虐待(疑いを含む)	1,217 (2.3%)	1,050 (1.7%)	1,326 (1.8%)	26.3%増
	住居・転居関係	892 (1.7%)	1,129 (1.8%)	1,294 (1.8%)	14.6%増
	成年後見	1,007 (1.9%)	1,196 (1.9%)	1,183 (1.6%)	1.1%減
	通いの場、地域資源	1,074 (2.0%)	1,231 (2.0%)	1,181 (1.6%)	4.1%減
	エンディングサポート	—	192 (0.3%)	165 (0.2%)	14.1%減
	日常生活自立支援事業	—	—	208 (0.3%)	—
その他	3,424 (6.4%)	3,416 (5.4%)	3,006 (4.1%)	12.0%減	

表1のとおり、令和元年度から新たに集計を始めた相談者実人数は15,754人で、高齢者人口250,557人（平成31年4月30日現在）の6.3%となっている。

また、相談者延人数は47,258人と、30年度の41,248人と比べ6,010人増え、対前年比14.6%の増加となっている。

相談件数は73,862件と10,972件増え、対前年比17.4%の増加であり、高齢者の自宅を訪問して対応した件数は、12,122件と30年度の10,940件と比べ1,182件増え、対前年比10.8%の増加となっている。

相談内容別では、「介護保険制度に関すること（33,782件）」が総合相談全体の45.7%を占め、続いて「認知症等に関すること（7,920件）」、「医療・保健に関すること（6,055件）」、「施設入所に関すること（3,843件）」となっている。特に伸びが大きかった相談内容は、「ケアマネ支援」が前年度比56.2%増、次いで「介護保険制度」が前年度比35.0%増となっている。

また、30年度からは「エンディングサポート」、元年度からは「日常生活自立支援事業（※）」の項目を追加している。

※日常生活自立支援事業・・・判断能力の低下などにより、1人では日常生活を送ることに不安がある方に対し、契約に基づいて福祉サービスの利用手続きや日常生活に必要なお金の出し入れなどの支援を行う事業で、千葉県社会福祉協議会が実施している。

2 一般介護予防事業

【表2 一般介護予防事業実施状況】

項目 \ 年度	平成29年度 単位：(人)	平成30年度 単位：(人)	令和元年度 単位：(人)	対前年度比
介護予防普及啓発事業	38,325	42,965	34,956	18.6%減
地域介護予防活動支援事業	26,484	32,099	29,877	6.9%減

表2のとおり、介護予防普及啓発事業（認知症サポーター養成講座、講演会、ミニ講座、相談会等）の実績としては、元年度は34,956人と、30年度の42,965人と比べ8,009人減少し、対前年比18.6%の減少となっている。

また、地域介護予防活動支援事業（体操教室、ボランティア育成講座の講師、サークル、サロン活動支援・助言等）の実績としては、元年度は29,877人と、30年度の32,099人と比べ2,222人減少しており、対前年比6.9%の減少となっている。

双方ともに減少しているが、これは、令和元年9月及び10月に発生した台風や新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業を見合わせたことによる影響を受けている。

3 指定介護予防支援事業

【表3 介護予防支援プラン新規作成件数】

	平成29年度 単位：(件)	平成30年度 単位：(件)	令和元年度 単位：(件)	対前年度比
センター作成プラン数	3,731	3,078	3,740	21.5%増
委託事業所作成プラン数	5,339	4,887	5,437	11.3%増
合計	9,070	7,965	9,177	15.2%増

表3のとおり、要支援1・2の方で、介護予防支援費に係るケアプラン（①介護予防給付サービスのみ、または②介護予防給付サービスかつ総合事業サービス〔一般介護予防事業を除く〕を利用する人に対して作成するケアプラン）の件数は、合計で9,177件となっており、平成30年度7,965件に対し、令和元年度は15.2%の増加となった。

これは要支援者数の増加や、福祉用具や通所リハビリ等の介護予防給付サービスを利用する人が一定数存在するためである。

4 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

【表4 介護予防ケアマネジメントプラン新規作成件数】

	平成29年度 単位：(件)	平成30年度 単位：(件)	令和元年度 単位：(件)	対前年度比
センター作成プラン数	2,015	3,367	3,915	16.3%増
委託事業所作成プラン数	2,613	4,745	4,648	2.0%減
合計	4,628	8,112	8,563	5.6%増

表4について、平成29年度からの総合事業開始に伴い、「要支援1・2」の方及び基本チェックリストで該当者となった「事業対象者」の中で、総合事業のサービスのみを利用する人に対して作成した「介護予防ケアマネジメントプラン」の件数は、合計で8,563件となった。

なお、介護予防支援に係るケアプラン作成件数と介護予防ケアマネジメントに係るケアプラン作成件数の割合については、51.7%と48.3%となった。

【表5 要支援認定者数、事業対象者数とサービス受給者数】

	平成29年度 単位：(人)	平成30年度 単位：(人)	令和元年度 単位：(人)	対前年度比
要支援1・2認定者数	10,976	11,692	12,149	3.9%増
介護予防給付サービス受給者数	5,226	3,117	3,408	9.3%増
総合事業サービス受給者数	842	4,820	4,856	0.7%増

※各年度9月分の介護保険事業状況報告等から計上

表5は、令和元年度9月時点のサービス受給資格者である要支援1・2の認定者数と、介護予防給付サービスおよび総合事業サービスの受給者数を記載している。

なお、介護予防給付サービス受給者数と総合事業サービス受給者数は一部重複している。

平成29年4月から総合事業が開始し、1年かけて介護予防給付の一部が総合事業サービスへと移行したことにより、平成30年9月時点では介護予防給付サービス受給者数が減少し、総合事業サービス受給者数が増加している。

一方で、令和元年度は、介護予防給付サービス及び総合事業サービス受給数ともに増加に転じているが、これは、要支援者数の増加に加え、介護予防給付サービス（福祉用具や通所リハビリ等）を利用する人が一定数存在するためである。

5 地域ケア会議

【表6 地域ケア会議実施状況（機能別の分類）】

項目	年度	平成29年度 単位：(回)	平成30年度 単位：(回)	令和元年度 単位：(回)	対前年度比
	合計	合計	合計		
個別課題の解決		32	116	118	1.7%増
地域づくり・地域課題の発見・ネットワーク構築等		228	150	139	7.3%減
合計		260	266	257	3.4%減

地域ケア会議は、個別事例の検討、自立支援の強化、地域課題の発見・分析・解決、地域包括支援ネットワークの構築等を目的として実施した。

また、表6のとおり、「個別課題の解決」の会議数はやや増加しているが、「地域づくり・地域課題の発見・ネットワーク構築等」の会議数は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期したこと等により、前年度比7.3%の減少であった。

なお、上記件数には、複数のあんしんケアセンターが合同で開催した件数も一部含まれている。

6 各種会議等の開催について（本市主催分）

【表7 令和元年度会議等開催状況】

会議等名称	開催数	内容
「あんしんケアセンター 管理者会議」	4回	各あんしんケアセンターの管理者を集め、センター30か所（出張所2か所含む）の円滑な運営及び平準化を図るため、情報共有や議案検討を行った。
「ICFシート活用研修」（研修会）	1回 （44人受講）	自立支援に資する地域ケア会議を目指すため、ICF（国際生活機能分類）の考え方や活用方法について、演習を交えて研修を行った。
「ケアマネジメント力向上研修」（研修会）	新型コロナウィルス感染拡大防止のため延期	ケアマネジメントを行うにあたり、アセスメントの考え方など、気を付けたいポイントについて研修を行う。
「あんしんケアセンター 運営会議」※区ごとに実施	51回	各区において、区ごとの支援担当職員が、あんしんケアセンター管理者を集め、毎月の活動実績及び予定についての報告等を行った。 本会議では報告のほか、センターの課題や取り組みについての情報交換や協議を行い、共通の課題抽出や解決に向けた検討を行った（地域包括ケア推進課職員同席）。
「あんしんケアセンター支援担当 職員会議」※6区合同で実施	6回	6区合同で、あんしんケアセンターへの支援活動の報告及び課題の検討、情報交換を行った。

表7のとおり、あんしんケアセンター職員の資質向上と平準化及び各関係機関との連携を図るため、各種会議を開催した。

なお、「ケアマネジメント力向上研修」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度以降に延期となった。